**稟議システム**

**設定・管理系**

**機能仕様書**

目次

[1 設定・管理系機能概要 1](#_Toc204345362)

[2 機能一覧及び機能搭載画面の参照一覧 1](#_Toc204345363)

[3 会社情報設定機能 2](#_Toc204345364)

[3.1 機能概要 2](#_Toc204345365)

[3.2 機能仕様 2](#_Toc204345366)

[3.3 入力仕様 2](#_Toc204345367)

[3.4 出力仕様 2](#_Toc204345368)

[4 アプリケーション設定 3](#_Toc204345369)

[4.1 機能概要 3](#_Toc204345370)

[4.2 機能仕様 3](#_Toc204345371)

[4.3 入力仕様 3](#_Toc204345372)

[4.4 出力仕様 6](#_Toc204345373)

[5 仮パスワード発行管理機能 8](#_Toc204345374)

[5.1 機能概要 8](#_Toc204345375)

[5.2 機能仕様 8](#_Toc204345376)

[5.3 入力仕様 9](#_Toc204345377)

[5.4　出力仕様 9](#_Toc204345378)

[6 代行依頼管理 10](#_Toc204345379)

[6.1 機能概要 10](#_Toc204345380)

[6.2 機能仕様 10](#_Toc204345381)

[6.3 入力仕様 11](#_Toc204345382)

[6.4 出力仕様 12](#_Toc204345383)

[7 機能一覧管理設定 13](#_Toc204345384)

[7.1 機能概要 13](#_Toc204345385)

[7.2 機能仕様 13](#_Toc204345386)

[7.3 入力仕様 14](#_Toc204345387)

[7.4 出力仕様 15](#_Toc204345388)

[7.5 特記事項 16](#_Toc204345389)

[8 メニュー管理機能 16](#_Toc204345390)

[8.1 機能概要 16](#_Toc204345391)

[8.2 機能仕様 16](#_Toc204345392)

[8.3 入力仕様 17](#_Toc204345393)

[8.4 出力仕様 18](#_Toc204345394)

[8.5 特記事項 19](#_Toc204345395)

[9 改訂履歴 20](#_Toc204345396)

# 設定・管理系機能概要

本ドキュメントは、稟議システムの円滑な運用を支えるために実装された「設定管理系」機能群の仕様を統合的に整理したものである。これらの機能は、運用管理者がシステムの基本情報（会社情報やメニュー構成など）、アカウント管理（ユーザー・グループ・ロールの設定）、およびログ監視機能（操作ログ・エラーログの出力と参照）を通じて、システム全体の運用安定性、ユーザー操作の可視化・トレーサビリティ、業務継続性といった要件を満たすよう設計されている。

「設定管理系」機能は、第2章（2. 機能一覧及び機能搭載画面の参照一覧）に示すように複数のカテゴリに分類され、それぞれが個別の設定管理機能として構成されている。これらは単体で完結するものではなく、他機能（例：申請・承認機能や検索機能）と連携して初めてその運用価値を発揮するよう設計されている。

# 機能一覧及び機能搭載画面の参照一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機能ID | 機能名称 | 搭載画面名称 | 参照先画面仕様書 |
| F001 | 会社情報設定 | 会社情報設定管理画面 | 設定・管理系UI仕様書.xlsx  会社情報設定シート |
| F002 | アプリケーション設定 | アプリケーション設定管理画面 | 設定・管理系UI仕様書.xlsx  アプリケーション設定シート |
| F003 | 仮パスワード発行 | 仮パスワード発行管理画面 | 設定・管理系UI仕様書.xlsx  仮パスワード発行シート |
| F004 | 代行依頼一括 | 代行依頼一括管理画面 | 設定・管理系UI仕様書.xlsx  代行依頼一括管理シート |
| F005 | 機能管理 | 機能管理画面 | 設定・管理系UI仕様書.xlsx  機能管理シート |
| F006 | メニュー表示管理 | メニュー表示管理画面 | 設定・管理系UI仕様書.xlsx  メニュー表示管理シート |
| F007 | システム処理状態機能 | システム処理状態管理画面 | 設定・管理系UI仕様書.xlsx  システム処理状態シート |

# 会社情報設定機能

## 機能概要

「会社名」「期末日」「会社URL」などの基本的な会社情報を登録・変更するための管理機能である。登録された情報は、ヘッダ情報出力される。

## 機能仕様

利用者は「3.3入力項目」を設定し、会社情報入力を行う。

なお、何も設定しない状態で設定機能を利用した場合には画面にエラーが表示される。

設定実行時の結果表示については、3.4[設定実行時の結果表示パターン]に一覧として示す。

入力仕様に示した、入力チェック未通過の場合、エラーメッセージが表示され設定は行われない。

## 入力仕様

【会社情報設定】

この入力項目の詳細仕様（入力方法・最大長・入力型など）については画面仕様書を参照するものとし、以下には主な入力項目とその概要、用途を示す。

|  |  |
| --- | --- |
| 入力項目（項目名） | 概要・絞り込み用途 |
| 会社名 | 会社名を入力する。画面ヘッダ等に表示される名称として使用される。 初期値：規定値　最大文字数：100文字 |
| 期末日 | 会計年度の期末日を指定する。  初期値：なし　形式：MMDD（例：0331） |
| 会社URL | 自社のWebサイトURLなどを入力する。関連情報のリンク先として利用される。  ヘッダへ出力される会社名のリンク先。 初期値：規定値（例：http://example.com）最大文字数：200文字 ※URL形式（例：http://〜、https://〜）の文字列であることを確認する入力チェックを行う。 |

## 3.4 出力仕様

[設定実行時の結果表示パターン]

この表示パターン一覧は、「会社情報設定」画面での登録・更新処理の結果に応じて、画面上に表示される内容を示すものである。表示位置や表示方法については画面仕様書を参照するものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 設定結果及び状態 | 表示される情報と仕様 |
| 設定が正常に完了した場合 | 「会社情報を設定しました。」という完了メッセージを画面上に表示する。 |
| 必須項目が未入力の場合 | 必須のある項目の下にエラーメッセージを表示し、ユーザーに入力を促す。例：「このフィールドは必須入力です。」というメッセージを入力枠下部へ表示する。 |
| 異常系（例外発生時） | システム内部で想定外のエラー（例外）が発生した場合には、共通エラーメッセージ「システムエラーが発生しました。管理者に連絡してください。」をエラー画面に用いて表示する。 ※例外はログに記録されるものとする。 |

# アプリケーション設定

## 機能概要

システムの動作や表示に関する共通設定を管理するための機能。通知設定や画面動作など、システム全体の動作に影響を与える設定項目。

## 機能仕様

利用者は「4.3入力項目」を設定し、アプリケーション設定入力を行う。

設定結果の表示については、4.4「アプリケーション設定の表示パターン」に一覧として示す。

本機能設定により、通知設定や画面挙動の制御が可能となり、システムの使いやすさや業務運用の柔軟性を向上させる。

本画面は、管理者に限らず、アクセス権を持つ利用者であれば誰でも設定変更が可能である。  
本機能で設定可能な項目とその内容を以下に示す。

設定項目ごとの反映結果：

申請フローの削除の設定オプションと動作：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設定項目 | 設定値 | 表示・動作内容 |
| 申請フローの削除 | チェックあり | ・申請フロー表示画面において、[削除]ボタンが非表示となる。 ・状態一覧画面において、削除操作（[中止・中止取消・削除]）が不可となる。 |
| 申請フローの削除 | チェックなし | ・申請フロー表示画面において、[削除]ボタンが表示され、操作可能となる。 ・状態一覧画面において、「中止・中止取消・削除」処理内の[削除]ボタンをクリックすることで、削除操作が可能になる。 |

通知先指定で帳票参照権限を持たないグループの選択の設定オプションと動作：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設定項目 | 設定値 | 表示・動作内容 |
| 通知先指定で帳票参照権限を持たないグループの選択 | チェックあり | 通知指示画面の表示時、帳票の参照権限を持たないグループも選択可能になる。 |
| 通知先指定で帳票参照権限を持たないグループの選択 | チェックなし | 通知指示画面の表示時、帳票の参照権限を持たないグループは選択できなくなる。 |

要求リストに差戻・通知コメント表示の設定オプションと動作：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設定項目 | 設定値 | 表示・動作内容 |
| 要求リストに差戻・通知コメント表示の設定 | チェックあり | 要求一覧画面の表示時、差戻や通知要求にコメントがある場合は、そのコメントが表示される。 |
| 要求リストに差戻・通知コメント表示の設定 | チェックなし | 要求一覧画面の表示時、差戻や通知要求にコメントがあっても、そのコメントは表示されない。 |

バックアップ処理終了時のメール通知の設定オプションと動作：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設定項目 | 設定値 | 表示・動作内容 |
| バックアップ処理終了時のメール通知の設定 | しない | 処理結果にかかわらず、通知メールは送信されない。 |
| バックアップ処理終了時のメール通知の設定 | 失敗時のみ通知 | 処理が失敗した場合のみ、指定アドレス宛に通知メールを送信する。 |
| バックアップ処理終了時のメール通知の設定 | 常に通知 | 成功・失敗を問わず、処理完了時に通知メールを送信する。 |

通知先メールアドレス：

通知先メールアドレスは複数指定可能（カンマ区切り）。

指定したメールアドレス宛に、処理結果（成功／失敗）・処理日時などの情報を含む通知メールが送信される。

通知は「システムへのアクセス状態にかかわらずに確認できる手段」として機能する。

処理の対象は、データバックアップ処理および日時バックアップ処理である。

処理中に異常終了（例外）が発生した場合、通知メールにエラー内容を明記（※実装依存）。

バックアップ処理終了時通知先メールアドレスラベルの設定オプションと動作：

カンマ区切りで複数アドレス指定可能。

上記メール通知設定と連動し、バックアップ完了時に通知を送信する宛先となる。

通知内容には、処理の種類、成功／失敗、実行日時などが含まれる（※実装仕様に依存）。

指定先は、日々の通知を複数人に送るための実運用上の設定として利用される。

組織移行処理終了時のメール通知の設定オプションと動作：

「組織移行処理」が完了した際に、通知メールを送信するかどうかを選択する設定項目である。

|  |  |
| --- | --- |
| 選択肢 | 動作内容 |
| しない | 処理結果にかかわらず通知は行われない。 |
| 失敗時のみ通知 | 組織移行処理が失敗した場合のみ通知を行う。 |
| 常に通知 | 成功・失敗にかかわらず通知を行う。 |

バックアップ処理時の通知設定と同様の仕組みで動作する。

通知には処理の結果、対象組織、日時などの情報を含む。

システム障害や異常終了が発生した場合も、通知内容に反映される。

組織移行処理終了時通知先メールアドレスの設定オプションと動作：

カンマ区切りで複数指定可能。

組織移行処理完了時、設定に従って通知メールが自動送信される。

管理者・情報システム部門が処理の成否を把握するための手段として活用される。

テストメール送信（バックアップ処理／組織移行処理）

|  |  |
| --- | --- |
| 設定項目 | 表示・動作内容 |
| テストメール送信（バックアップ処理）、 テストメール送信（組織移行処理） | 指定された通知先メールアドレス宛にテストメールを送信し、設定内容が正しく反映されているかを確認する。 実際の処理には影響を与えず、通信可否や誤入力の事前チェックに活用される。 |

## 入力仕様

【アプリケーション設定】

この入力項目の詳細仕様（入力方法・最大長・入力型など）については画面仕様書を参照するものとし、以下には主な設定項目とその概要、制御内容を示す。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設定項目 | 設定値 | 制御内容 |
| 申請フローの削除 | チェックあり | 申請フローの削除操作を許可するかどうかを制御する設定である。申請フロー表示画面および状態一覧画面の[削除]ボタンの表示制御に反映され、削除操作の可否に直結する。 初期値：なし　最大文字数：なし |
| 申請フローの削除 | チェックなし | ・申請フロー表示画面で[削除]ボタンが表示され、操作可能となる。 ・状態一覧画面で削除操作が可能になる。 初期値：なし　最大文字数：なし |
| 通知先指定で参照権限を持たないグループの選択 | チェックあり | ・通知先を指定する際に、稟議の参照権限を持たないグループも選択できるようにするための設定である。 ・設定を有効にすると、通知送信時のグループ選択画面において、閲覧権限を持たないグループも表示され、選択可能になる。  ・これにより、より多くのグループに通知を送ることができる運用が可能になる。  初期値：なし　最大文字数：なし |
| 通知先指定で参照権限を持たないグループの選択 | チェックなし | ・通知指示画面では、稟議の参照権限を持たないグループは選択できない。 |
| 要求リストに差戻／通知コメント表示 | チェックあり | ・要求一覧画面における**ユーザーの**視認性および対応効率を向上させるための設定である。差戻や通知に対してコメントがある場合、それを一覧画面上に赤字で即表示することで、**対応漏れや確認忘れを防止**する。  ・設定が有効になると、一覧画面にてコメント付き項目が視覚的に明確になり、**業務の可視化と即時対応の促進**をシステム側で支援することになる。  初期値：なし　最大文字数：なし |
| 要求リストに差戻／通知コメント表示 | チェックなし | ・要求一覧画面では、コメントがあっても表示されない。 |
| バックアップ処理終了時のメール通知 | しない | 「データバックアップ」および「日時バックアップ」処理が終了した際に、指定したメールアドレスへ通知を行うかどうかを設定するものである。 選択肢：しないの場合 ・通知メールは送信されない。  初期値：なし　最大文字数：なし |
| バックアップ処理終了時のメール通知 | 失敗時のみ通知 | 選択肢：失敗時のみ通知の場合 ・処理失敗時にのみ、指定されたメールアドレス宛に通知が送信される。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| バックアップ処理終了時のメール通知 | 常に通知 | 選択肢：常に通知の場合 ・処理成否にかかわらず、完了時に通知が送信される。 |
| バックアップ処理終了時通知先メールアドレス | - | データバックアップまたは日時バックアップ処理が完了した際に、通知を送信するメールアドレスを設定する項目である。複数指定可能で、半角カンマ（ , ）で区切る。 本項目は「バックアップ処理終了時のメール通知」設定が「失敗時のみ通知」または「常に通知」の場合に有効。  初期値：なし　最大文字数：なし |
| 組織移行処理終了時のメール通知 | しない | 「組織移行処理」が完了した際に、通知メールを送信するかどうかを選択する設定項目である。 選択肢：しないの場合 ・通知メールは送信されない。  初期値：なし　最大文字数：なし |
| 組織移行処理終了時のメール通知 | 失敗時のみ通知 | 選択肢：失敗時のみ通知の場合 ・処理失敗時にのみ、指定されたメールアドレス宛に通知が送信される。 |
| 組織移行処理終了時のメール通知 | 常に通知 | 選択肢：常に通知の場合 ・処理成否にかかわらず、完了時に通知が送信される。 |
| 組織移行処理終了時通知先メールアドレス | - | 組織移行処理の通知を送る対象メールアドレスを設定するための項目である。複数指定時は半角カンマで区切る。本項目は「組織移行処理終了時のメール通知」設定が「失敗時のみ通知」または「常に通知」の場合に有効。  初期値：なし　最大文字数：なし |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| テストメール送信（バックアップ処理） | - | 「バックアップ処理終了時通知先メールアドレス」に入力されたアドレス宛にテストメールを送信し、正しく設定されているか確認する。本項目は通知が有効な場合にのみ使用可能。  初期値：なし　最大文字数：なし |
| テストメール送信（組織移行処理） | - | 「組織移行処理終了時通知先メールアドレス」に入力されたアドレス宛にテストメールを送信し、正しく設定されているか確認する。本項目は通知が有効な場合にのみ使用可能。  初期値：なし　最大文字数：なし |

【メールアドレス設定共通チェック内容】

以下のいずれかに該当するメールアドレスはエラーとして扱う。

* 「@」および「.（ドット）」が含まれていない形式（例：example.com）
* 全角文字を含む（例：ｔｅｓｔ＠example.com）
* 前後にスペースが含まれている（例： user@example.com ）
* 不正な記号（例：<>、¥、& など）を含む（例：user<>@example.com）

## 出力仕様

【アプリケーション設定】

本項では、アプリケーション設定画面における各設定項目の入力後に表示されるUIや動作、およびその処理内容を示す。

設定結果の共通表示

|  |  |
| --- | --- |
| 状態 | 表示内容 |
| 設定が成功した場合 | 「設定しました。」という完了メッセージを画面上に表示する。 |
| 必須項目が未入力の場合 | 対象項目の直下にエラーメッセージを表示し、ユーザーに入力を促す。 例：「このフィールドは必須入力です。」 |
| 異常系（例外発生時） | システム内部で想定外のエラー（例外）が発生した場合には、共通エラーメッセージ「システムエラーが発生しました。管理者に連絡してください。」をエラー画面に用いて表示する。 ※例外はログに記録されるものとする。 |

# 仮パスワード発行管理機能

## 機能概要

利用者がログインパスワードを忘れた場合に、一度だけログイン可能な仮パスワードの発行および通知を管理者が行うための管理機能である。  
管理者は、利用者から「パスワードを忘れた」と申告を受けたときに、仮パスワードを発行する。仮パスワードは、管理者が利用者に手動で伝える必要がある。

利用者は、その仮パスワードで一度だけログインすることができるが、ログイン後に必ず自分で新しいパスワードに変更する必要がある。これにより、安全性を保ちつつ、スムーズにログインできるようになる。

※このシステムには、仮パスワードを自動で通知する機能は備えていない。

## 機能仕様

管理者は「5.3 入力項目」を設定し、仮パスワードの発行操作を行うものとする。

処理結果の出力については、5.4「仮パスワード発行の表示パターン」に一覧として示す。

仮パスワードを利用してログインした後、利用者は必ず自身のログインパスワードを変更する必要がある。必須項目（対象ユーザー、仮パスワード）が未入力、または入力値が以下の条件を満たさない場合は、エラーメッセージを表示し、仮パスワードは発行されない。

【仮パスワードの入力仕様】

・8文字以上20文字以下

・英大文字・英小文字・数字をすべて含むこと

・記号（@、#、$など）を1文字以上含むこと

## 入力仕様

【仮パスワード発行設定】

この入力項目の詳細仕様（入力方法・最大長・入力型など）については画面仕様書を参照するものとし、以下には主な設定項目とその概要、制御内容を示す。

|  |  |
| --- | --- |
| 設定項目（項目名） | 概要 |
| 発行対象ユーザー | 仮パスワードの発行対象となるユーザーを指定する項目である。指定されたユーザーに対して仮パスワードが発行される。ユーザーは、ユーザー選択ダイアログから検索・選択する形式とする。 初期値：なし　最大文字数：なし |
| 仮パスワード | 管理者が直接入力する仮パスワード項目である。仮パスワードは、半角英数字8〜20文字の範囲で、記号を含まないこととする。入力欄には伏せ字（●●●）が表示されるが、「パスワード表示」チェックをONにした場合はテキスト形式で表示される。 初期値：なし　最大文字数：20文字 |

## 5.4　出力仕様

【仮パスワード発行設定】

本項では、仮パスワード発行画面における初期表示、および登録操作実行後の出力内容（完了メッセージ、エラー表示など）について示す。

登録処理後の出力

|  |  |
| --- | --- |
| 処理結果 | 表示内容・動作 |
| 登録処理が成功した場合 | 「仮パスワードを発行しました。」という完了メッセージを画面上に表示する。 発行済みの仮パスワード情報（対象ユーザー名、ユーザーID、発行日時など）を「仮パスワード発行履歴一覧」エリアに即時表示する。 |
| 必須項目が未入力の場合 | 対象項目の下にエラーメッセージを表示する。 例：「このフィールドは必須入力である。」 |
| 異常系（例外発生時） | システム内部で想定外のエラー（例外）が発生した場合には、共通エラーメッセージ「システムエラーが発生しました。管理者に連絡してください。」をエラー画面に用いて表示する。 ※例外はログに記録されるものとする。 |

# 代行依頼管理

## 機能概要

本機能は、代行依頼の登録・検索・一覧表示を行うための管理画面である。  
「代行依頼」とは、本来ユーザー自身が行う操作や申請を、他者（代理人）に代行してもらうことを意味。

本画面では、以下の操作が可能です：

ログインユーザー本人が、自分の代行依頼を登録・確認する

管理者が、全ユーザー分の代行依頼を一括登録・検索・一覧表示する

機能としては共通ですが、アクセス権限に応じて操作範囲が異なります。  
本人は自分の依頼のみ管理できますが、管理者は全体の代行依頼を一元的に管理・操作できます。

## 機能仕様

利者は「6.3 入力項目」を設定し、代行依頼登録を行うものとする。本機能は、画面にアクセス権限を持つ利用者であれば使用可能である。利用可否はロールや管理者権限に依存せず、画面へのアクセス制御のみによって制限される。利用者は一覧から編集対象の行を選択し、編集画面に遷移することで、登録済みの代行依頼情報（代行者、代行期間、理由）を修正できる。

① 登録機能

利用者は「6.3 入力項目」を設定し、代行依頼の登録を行う。登録された代行依頼は、指定された「開始日」から有効となり、「終了日」を過ぎると自動的に無効状態となる。無効化されたデータは削除されず、履歴として保持される。

② 検索・一覧表示機能

登録済みの代行依頼を条件指定で検索し、一覧表示することができます。検索結果には、依頼者名、代行者名、期間、状態（有効／無効）などの情報が表示される。アクセス権に応じて、他ユーザー分を含めた全件の検索も可能。

【排他チェックと注意事項】

本機能は承認処理に関係するため、誤った設定によって意図しない承認が行われる可能性がある。特に「開始日」や「終了日」の設定には注意が必要。

代行者が他ユーザーの代行をすでに受けている場合、同一期間に重複する代行設定は行えません。以下の条件に該当する場合、システムはエラーメッセージを表示し、登録処理を中断する：

* 代行者が、同一期間内に別の依頼元からすでに代行設定されている
* 既存の代行依頼と、新たに設定しようとしている代行期間が一部でも重複している

## 入力仕様

【代行依頼管理画面 入力項目】

この入力項目の詳細仕様（入力方法・最大長・入力型など）については画面仕様書を参照するものとし、以下には主な設定項目とその概要、制御内容を示す。

検索条件エリア：

|  |  |
| --- | --- |
| 項目名 | 概要・制御内容 |
| 代行依頼者 | 承認権限を代行者へ委譲する利用者を指定する項目である。対象のユーザーは、ユーザー選択ダイアログより検索・選択するものとする。 初期値：なし　最大文字数：なし |
| 代行者 | 代行依頼者から承認権限を委譲される利用者を指定する項目である。対象のユーザーは、ユーザー選択ダイアログより検索・選択するものとする。 初期値：なし　最大文字数：なし |

依頼設定エリア（新規依頼）

|  |  |
| --- | --- |
| 項目名 | 概要・制御内容 |
| 代行依頼者 | 承認権限を委譲する元のユーザーを指定する項目。ユーザー選択ダイアログから選択。 ※必須項目。 |
| 開始日／終了日 | 代行承認が有効となる期間を1日単位で設定する項目である。 ・開始日は当日の0:00から適用されるものとする。 ・終了日は当日の23:59まで適用されるものとする。 ・開始日と終了日に同一日を指定した場合は、その1日限りで有効な設定とする。 ※いずれも必須項目。 |
| 代行者 | 代行を担当するユーザーを指定する項目。ユーザー選択ダイアログから選択。 ※必須項目。 |
| 理由 | 代行依頼の目的を記載する自由記述欄である。本項目に入力された内容は、運用記録や監査ログに活用される。 ※必須項目。 |

## 出力仕様

【代行依頼管理】

この入力項目の詳細仕様（入力方法・最大長・入力型など）については画面仕様書を参照するものとし、以下には主な入力項目とその概要、用途を示す。

検索の出力仕様

|  |  |
| --- | --- |
| 処理・状態 | 表示内容・動作仕様 |
| 登録済代行依頼の一覧表示 | 検索条件に一致する代行依頼情報を一覧表示する。表示項目には、代行依頼者ID・名前、代行者ID・名前、代行期間、理由、更新者、更新日時などが含まれる。 |
| 検索結果が存在しない場合 | 「該当する代行依頼は存在しません。」というメッセージを一覧エリアに表示する。 |
| 有効期限切れの依頼 | 終了日を過ぎた代行依頼については、デフォルトの一覧表示には含めない。ただし、別タブまたは表示切り替え機能により確認可能とする。 |

登録・編集時の出力

|  |  |
| --- | --- |
| 処理・状態 | 表示内容・動作仕様 |
| 登録／編集成功 | 登録時：「代行依頼を登録しました。」 編集時：「代行依頼を更新しました。」 いずれも、画面上部に完了メッセージを表示する。 |
| 入力不備がある場合 | 該当項目の下部にエラーメッセージを表示する。例：「開始日を入力してください」「終了日は開始日以降の日付を指定してください」等。 |
| 異常系（例外発生時） | システム内部で想定外のエラー（例外）が発生した場合には、共通エラーメッセージ「システムエラーが発生しました。管理者に連絡してください。」をエラー画面に用いて表示する。 ※例外はログに記録されるものとする。 |

# 機能一覧管理設定

## 機能概要

本機能は、稟議システム内に表示される各種機能（Webリンク）の定義および管理を行うものである。既存の処理機能（エンドポイント）とシステム上の機能一覧を対応付けるために使用し、機能の名称、表示制御、画面遷移先などを設定・確認することが可能である。

利用者は、本機能を通じて、利用目的に応じた機能リンクの新規作成、変更、検索を行うことができる。また、利用者が任意に作成したWebリンク機能も同様に管理対象とし、名称やURL、利用可否などの情報を一元的に管理するものとする。

## 機能仕様

利用者は「7.3 入力項目」を設定し、機能一覧情報の登録・更新・一覧表示を行うものとする。

処理結果の表示については、7.4「機能一覧管理設定]に一覧として示す。登録内容は機能一覧に即時反映される。

本機能では、稟議システムに表示される各機能（リンク）に対して、名称、URL、種別、状態などの管理を行う。機能は「システム機能」と「カスタマイズ機能」に分類される。

機能は、以下の2種類に分類される：

システム機能：

「システム機能」は、システムの主要処理に関わる固定的な機能であり、内容の変更は許可されていない。

表示名・URLの編集は不可だが、状態（利用可否）の切り替えや詳細内容の閲覧は可能。

状態を「機能停止中」と設定した場合、その機能はすでに設定済のメニュー上から非表示となり、新たにメニューへ追加することもできない。

機能自体は削除されず、機能一覧内に保持される論理削除（停止）扱いであり、再度「利用可能」に変更することで再表示・利用が可能。

カスタマイズ機機能：

利用者ごとに追加・設定された個別対応の機能。

**名称・URL・状態などの編集が可能**であり、必要に応じて機能情報を登録・修正できる。

「機能停止中」に設定された場合は、システム機能と同様に非表示・利用不可となるが、再開も可能。

登録・更新・状態変更は、メニュー表示設定とも連動しており、変更内容は即座にユーザー画面へ反映される。そのため、更新タイミングには十分な注意が必要である。  
なお、機能IDはシステムによる自動採番であり、利用者による変更は不可とする。

## 入力仕様

[機能一覧管理検索条件]  
この検索条件の詳細仕様（入力方法・最大長・入力型など）については画面仕様書を参照するものとし、以下には検索条件とその概要を示す。

(1) 検索条件入力項目

|  |  |
| --- | --- |
| 設定項目（項目名） | 概要 |
| キーワード | 機能ID、機能名、URLパスのいずれかに対して部分一致で検索を行うための文字列を指定する。該当する機能が一覧に表示される。 入力形式：任意文字列（部分一致） 初期値：空欄　最大文字数：100文字 |
| 種別 | 検索対象とする機能の分類を指定する項目である。選択肢は「ユーザーWEB機能」のみ。 入力形式：プルダウン選択 初期値：空欄　最大文字数：- |
| 状態 | 機能の運用状態を指定する項目である。「機能運用中」または「機能停止中」から選択可能。 入力形式：プルダウン選択 初期値：「機能運用中」　最大文字数：- |

(2)機能一覧管理の入力対象項目（※検索条件ではない）

下記の項目は、検索条件ではなく機能情報の登録・変更に使用される管理項目である。画面内の入力欄において利用者が直接指定する。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目名 | 概要 |
| 機能ID | システムによって自動採番される一意の識別子である。登録時に自動付与され、変更不可とする。表示専用項目。 初期値：自動採番　最大文字数：- |
| 機能名 | 登録・変更対象の機能名称であり、ポータルメニューでの表示名となる。任意入力。 初期値：空欄　最大文字数：50文字 |
| URL | 機能選択時に遷移する先のルーティングパス（例：/users）または外部URL（例：https://example.com）のどちらも指定可能。初期値：空欄　最大文字数：200文字 |
| アイコン | ユーザーWEB機能に視認性を持たせるための任意項目である。登録・変更時に選択肢から識別名を指定可能とする。機能に付与する視認用アイコンを選択する項目。事前に登録済みのアイコン一覧から選択する形式とし、新たなアップロードは不可。任意入力。 初期値：未選択　最大文字数：- ※指定しない場合はアイコンなしで登録される。 |
| 状態 | 機能の運用状態を指定する。「機能運用中」または「機能停止中」のいずれかを設定する。プルダウン選択。 初期値：機能運用中　最大文字数：- |

## 出力仕様

【機能一覧管理設定】

本項では、機能一覧管理画面における初期表示および各種操作（検索、登録、変更）に対する出力内容を示す。画面構成の詳細は画面仕様書を参照のこと。

初期表示に関する出力

|  |  |
| --- | --- |
| 項目名 | 表示内容 |
| 検索条件欄 | 初期状態では未入力とし、検索実行まで一覧表示は行われない。 |

検索実行後の出力

|  |  |
| --- | --- |
| 処理 | 表示内容 |
| 検索実行時 | 入力されたキーワードに一致する機能情報を一覧表示する。表示項目は以下とする： ・機能ID ・機能名 ・URLパス ・アイコン名 ・機能種別 ・状態（運用中／停止中） |
| 検索結果が0件の場合 | 「該当する機能は存在しません。」というメッセージを一覧表示部に表示する。 |

登録・変更処理後の出力

|  |  |
| --- | --- |
| 処理 | 表示内容 |
| 登録完了時 | 「（機能名）を登録しました。」というメッセージを画面上部に表示する。 |
| 変更完了時 | 「（機能名）を変更しました。」というメッセージを画面上部に表示する。変更内容は機能一覧に即時反映される。 |
| アイコン選択時 | 選択したアイコン名（例：pencil-square）がアイコン欄または確認表示欄に反映される。 |

入力エラー時の出力

|  |  |
| --- | --- |
| 状況 | 表示内容 |
| 機能名が未入力の場合 | 「機能名を入力してください。」というエラーメッセージを該当欄下部に表示する。 |
| URLが未入力または不正形式（例：全角含む） | 「URL形式が正しくありません。」と表示する。URL欄下部に赤字で表示される。 |

異常系出力（システムエラー）

|  |  |
| --- | --- |
| 状況 | 表示内容 |
| 例外発生時 | システム内部で想定外のエラー（例外）が発生した場合には、共通エラーメッセージ「システムエラーが発生しました。管理者に連絡してください。」をエラー画面に用いて表示する。 ※例外はログに記録されるものとする。 |

## 特記事項

機能登録および変更において指定された内容（機能名、URL、アイコン、状態など）は、「メニュー表示設定」と連携しており、設定内容はユーザー側のポータル画面にリアルタイムで反映される設計となっている。

登録された機能をユーザーが実際に利用可能とするためには、別途「メニュー表示設定」機能を用いて、機能情報とメニューを関連付ける必要がある。

また、登録済みの機能名やURLを変更した場合、すでに表示中のメニュー上のリンク先や説明文が変更されることになる。この変更が利用者に周知されていない場合、操作混乱や誤認による問い合わせ発生の原因となる可能性がある。  
そのため、機能の変更を行う際には、利用者への事前通知や、必要に応じた変更承認プロセスの運用を推奨する。

# メニュー管理機能

## 機能概要

複数の機能をまとめて1つの表示単位（メニュー）として管理・表示制御する機能である。  
ロールや職種に応じた機能のグループを定義し、ユーザーに割り当てることで機能利用範囲を制限・提供できる。

## 機能仕様

利用者は「8.3 入力項目」にて必要な情報を設定し、メニュー表示の新規作成および一覧表示を行うことができる。  
作成されたメニュー表示の出力内容については、8.4 「メニューの表示パターン」に一覧として示す。メニュー表示を新規作成した後は、「メニュー表示の機能設定」画面にて、当該メニューに紐付ける機能を追加設定する必要がある。初期状態では、機能は1件も紐付けられていない状態である。なお、利用者に対して割り当て可能なメニュー表示は、1利用者につき1つまでとする。  
登録されたメニュー表示は、管理画面のメニュー一覧に即時反映され、検索結果にも表示される。また、ユーザー割当が行われた場合は、対象ユーザーが次回ログイン時から当該メニューをポータル画面で利用可能となる。  
表示対象が「サイドバーのみ利用」「モバイル専用メニューのみ利用」「共用利用」のいずれかに設定されている場合は、それぞれ該当する画面（PC/モバイル）に応じてメニューが表示される。  
検索処理を活用することで、管理者は登録済みメニューの状況確認（種別・表示先の分類）、モバイル／PC対応方針の棚卸し、不要なメニューの整理や名称変更候補の抽出、特定メニューの編集・詳細設定への導線確保などの業務を効率的に実施できる。

メニュー表示は、機能の表示可否および利用制御を担う設定であるため、業務内容や利用者の役割に応じて、正確かつ適切に設計・設定することが求められる。  
また、メニュー名はポータルのトップ画面やメニュー一覧において視認可能な名称として表示され、利用者が機能群を識別するための基準となる。

## 入力仕様

[メニュー表示管理：検索条件]  
この検索条件の詳細仕様（入力方法・最大長・入力型など）については「設定・管理機能系\_UI設計書」を参照するものとし、以下には検索条件とその概要および絞り込み用途を示す。

（※本画面の検索条件は「メニューID、メニュー名」のキーワード検索のみとする）

|  |  |
| --- | --- |
| 設定項目（項目名） | 概要・絞り込み用途 |
| メニュー表示名 | 一覧画面で対象のメニューを検索するための文字列を入力する。部分一致での検索が可能。 初期値：なし／入力形式：任意文字列（部分一致）／最大 文字数：50文字程度（想定） |

【メニュー表示管理：作成・編集時の入力項目】

以下は新規作成・編集時に利用者が入力・設定を行う項目の仕様である。詳細な入力仕様については、画面仕様書を参照すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 設定項目（項目名） | 概要 |
| メニュー表示名 | 登録するメニューの表示名称。ポータルのサイドバーやモバイルメニューなどに視認される名前として用いられる。 初期値：なし／最大文字数：50文字程度（想定） |
| 表示対象設定（PC／モバイル） | メニュー表示対象となる端末種別を選択する項目であり、以下から選択可能とする： ・サイドバーのみ利用 ・モバイル専用メニューのみ利用 ・サイドバー・モバイル共用利用 初期値：サイドバー・モバイル共用利用 |
| 機能選択・配置 | メニュー表示に含める機能を選択・配置する設定であり、以下の操作が可能である： ・登録済みの機能から選択し、セクション単位に分類して表示する。 ・機能の配置順はドラッグ＆ドロップにより調整できる。 ・セクション名称の追加・編集・削除が可能である。 初期値：なし |
| セクション名称の追加 | ユーザーは「＋セクション追加」ボタンをクリックすることで、新規セクションを追加できる。追加時には、セクション名称の入力欄が自動表示され、空白のまま登録は不可とする。 |
| セクション名称の編集 | 登録済みのセクション名称をクリックまたは編集アイコンを選択することで、名称の変更が可能となる。変更後、「保存」ボタンにより確定される。未入力の状態では確定できないようバリデーションを行う。 |
| セクション名称の削除 | 各セクションには「削除」ボタン（アイコン）を設置し、当該セクションを削除できる。 |
| 入力制限 | セクション名称の最大文字数は 30 文字とし、全角・半角いずれも入力可能。記号・絵文字は使用不可とする。 |
| セクション表示状態設定 | メニュー上で表示されるセクションの展開状態を初期設定する項目であり、初期表示時に開く／閉じを制御できる。 初期値：折りたたみ表示 |
| ユーザー割当設定 | 本メニュー表示を利用可能とするユーザーを一覧から選択する項目であり、選択されたユーザーに対して当該メニューが表示されるよう設定される。 初期値：なし（複数選択可） |

## 出力仕様

【メニュー表示管理設定】

以下は、メニュー表示管理画面における処理実行後の出力内容を示したものである。出力されるメッセージや表示の形式は、処理結果に応じて画面上に適切に反映される。

処理結果の表示

|  |  |
| --- | --- |
| 処理区分 | 出力内容・動作仕様 |
| メニュー登録成功時 | 「メニューを登録しました。」という完了メッセージを画面上部またはポップアップ領域に表示する。 |
| 入力不備・バリデーションエラー時 | メニュー名未入力時：「このフィールドは必須入力です。」等のエラーメッセージを該当入力欄に表示する。 その他の不正入力についても各項目単位で妥当性チェックし、適切なエラーメッセージを表示する。 |
| 異常系（例外発生時） | システム内部で想定外のエラー（例外）が発生した場合には、共通エラーメッセージ「システムエラーが発生しました。管理者に連絡してください。」をエラー画面に用いて表示する。 ※例外はログに記録されるものとする。 |

検索結果の出力

|  |  |
| --- | --- |
| 処理区分 | 出力内容・動作仕様 |
| メニュー検索反映 | メニューID または メニュー名 を指定して検索を実行すると、該当するメニューが一覧に表示される。 検索結果には以下の情報が含まれる： ・メニューID：システム上で一意に管理される識別子 ・メニュー名：業務画面やサイドメニュー等に表示される名称 ・Mobile Menu利用：当該メニューがPC／モバイルのどちらに表示されるかを示す（サイドバーのみ／モバイル専用／共用利用） |

## 特記事項

本機能で登録されたメニュー表示（メニューセット）は、機能をセクション単位で分類・表示制御する役割を持ち、ユーザー単位で1つのみ割り当て可能である点に注意すること。複数メニューの同時割り当ては不可である。

メニュー表示作成後は、必ず「メニュー表示の機能設定」にて機能を追加登録する必要がある。初期状態では機能が紐づいておらず、ユーザーが何も利用できない状態となる。

メニュー表示の設定内容（機能構成・表示対象・ユーザー割り当て）は、即時にユーザー画面に反映されるため、誤操作や未確認の状態での登録・更新には十分な注意が必要である。

メニューは業務上の視認性と操作性の起点となるため、業務パターンを考慮しつつも、ユーザー単位での割り当てとなる点を踏まえた運用設計が推奨される。

# 改訂履歴

[開発版]

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 生成バージョン | 記述者(改定者) | 作業日 | 作業・改訂内容 |
| Ver1.0.0 | Htoo Htoo San | 2025/07/17 | 初版作成 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※開発版には修正点・指摘点が多く発生することから別途管理表を作成し、改定内容については参照するものとする。

[正式版]

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 生成バージョン | 記述者(改定者) | 作業日 | 作業・改訂内容 |
| Ver1.0.0 | Htoo Htoo San | 2025/07/28 | 修正 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |